



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4607		
科目名	卒業論文		
担当教員	原 怜来		
対象学年	4年	開講学期	通年
曜日・時限	時間外		
講義室		単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	8
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3-H [論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした施行を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F [探求力・課題解決力] 問いを設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うと主に、オープンエンドな問題・課題にこたえるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 F1 探求と論拠（20%） G1 状況把握（15%） H1 論理的思考（30%） I2 量的分析（15%） I3 情報分析（15%） J2 創造的思考（5%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	本学科での4年間に渡る経験を基に、各学生の興味関心の高い体育スポーツに関する幅広い学問領域を踏まえながら卒業論文としてまとめることを目的とします。文献や資料を正確に調べ、指導教員や受講生と討論を重ねながら、学生自身の課題を深化させていきます。そして卒業論文提出までに定期的な報告会を設定し、1年を通して卒業論文をまとめていきます。授業は演習形式で行います。 ■キーワード 文献精査、研究、反省的实践		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する4年間の研究成果 ■授業の目的 自身の研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、論文としてまとめるために、4年間で学習した内容を基に自身で研究課題を設定し、これまでの講義・演習で学んだ研究方法を用いて計画の立案から実践までを行います。 ■授業のポイント これまでゼミナール等で学習した研究方法を用いて客観的データから身体運動の仕組みに迫り、その成果を論文という形にまとめます。		

総合到達目標	■これまで学習した内容を基に自身で研究課題を設定しこれまでの講義・演習で学んだ研究方法を用いて計画の立案から実践まで行い、研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、論文としてまとめることができる。 ・他者との議論を積極的に行い、自身の研究内容を吟味し、論文に反映することができる。（第1回～第21回） ・コーチングの研究についてその研究計画を立案、作成し、それに基づき計画を実行し、さらに結果の考察までを論文としてまとめることができる。（第22回～第30回）			
成績評価方法	■リアクションペーパー（10％）適用ルーブリック G 1 H 1 J 2 （評価の観点）他者の発表に関する肯定的、批判的な内容を含む講評をリアクションペーパーの記載という形式で行いその内容の評価を行います。 （フィードバックの方法）リアクションペーパー提出後に授業内で各発表に対する講評を行います。 ■プレゼンテーション（10％）適用ルーブリック F 1 H 1 I 2 I 3 J 2 （評価の観点）自身の研究実践経過および結果を定例的（月1回）に発表し、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各発表後に講評を行います。 ■論文（80％）適用ルーブリック F 1 H 1 I 2 I 3 J 2 （評価の観点）作成した論文の内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）論文提出後、個別に面談を行います。			
履修条件	「ゼミナールⅠ SSSCS4605」、「ゼミナールⅡ SSSCS4606」を履修していること。			
履修上の注意点	特にありません。			
授業内容	回	内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 卒業論文の進め方や評価について説明を行い、論文作成を進めていくための過程やその方法について理解し、卒業論文作成を通して何を学ぶかについて説明する。 ③予習（300分）ゼミナールでまとめた内容を再度確認する。シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（300分）ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身で取り組む内容とスケジュールについて確認しておく。	16	①授業テーマ 卒業論文完成にむけて ②授業概要 前期授業内容および中間発表会を振り返り、自身で論文をまとめていく過程を整理する。 ③予習（300分）前期授業内容および中間発表会を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習（300分）論文提出までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
	2	①授業テーマ 研究の進め方の立案 ②授業概要 卒業論文の進め方を具体的に検討し、計画案として決定する。また、具体的な計画書を作成する。 ③予習（300分）研究の進め方やスケジュールを考え、まとめておく。 ④復習（300分）自身の研究計画書を確認し、修正等がないか確認しておく。	17	①授業テーマ 研究計画、研究経過の再確認 ②授業概要 卒業論文完成に向けての研究経過を確認し、研究計画の再考、修正を行う。 ③予習（300分）これまでの研究を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習（300分）論文提出までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
	3	①授業テーマ 研究の遂行① ②授業概要 研究データの収集、分析を行う。 ③予習（300分）授業時に進める研究内容について計画を立て、進め方の内容を計画表として具体的にまとめておく。 ④復習（300分）これまでの研究内容について振り返り、問題点や計画の修正点などをまとめておく。	18	①授業テーマ 研究の遂行① ②授業概要 研究データの分析、考察を行う。 ③予習（300分）これまでの研究を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習（300分）論文提出までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
	4	①授業テーマ 研究の遂行② ②授業概要 研究データの収集、分析を行う。	19	①授業テーマ 研究の遂行② ②授業概要 研究データの分析、考察を行う。

	③予習（３００分） 授業時に進める研究内容について計画を立て、進め方の内容を計画表として具体的にまとめておく。 ④復習（３００分） これまでの研究内容について振り返り、問題点や計画の修正点などをまとめておく。	③予習（３００分） これまでの研究を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習（３００分） 論文提出までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
5	①授業テーマ 研究の遂行③ ②授業概要 研究データの収集、分析を行う。 ③予習（３００分） 授業時に進める研究内容について計画を立て、進め方の内容を計画表として具体的にまとめておく。 ④復習（３００分） これまでの研究内容について振り返り、問題点や計画の修正点などをまとめておく。	①授業テーマ 研究の遂行③ ②授業概要 研究データの分析、考察を行う。 ③予習（３００分） これまでの研究を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習（３００分） 論文提出までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
6	①授業テーマ 研究の遂行④ ②授業概要 研究データの収集、分析を行う。 ③予習（３００分） 授業時に進める研究内容について計画を立て、進め方の内容を計画表として具体的にまとめておく。 ④復習（３００分） これまでの研究内容について振り返り、問題点や計画の修正点などをまとめておく。	①授業テーマ 研究の遂行三④ ②授業概要 研究データの分析、考察を行う。 ③予習（３００分） これまでの研究を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習（３００分） 論文提出までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
7	①授業テーマ 研究の遂行⑤ ②授業概要 研究データの収集、分析を行う。 ③予習（３００分） 授業時に進める研究内容について計画を立て、進め方の内容を計画表として具体的にまとめておく。 ④復習（３００分） これまでの研究内容について振り返り、問題点や計画の修正点などをまとめておく。	①授業テーマ 研究の遂行⑤ ②授業概要 研究データの分析、考察を行う。 ③予習（３００分） これまでの研究を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習（３００分） 論文提出までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
8	①授業テーマ 研究の遂行⑥ ②授業概要 研究データの収集、分析を行う。 ③予習（３００分） 授業時に進める研究内容について計画を立て、進め方の内容を計画表として具体的にまとめておく。 ④復習（３００分） これまでの研究内容について振り返り、問題点や計画の修正点などをまとめておく。	①授業テーマ 研究の遂行⑥ ②授業概要 研究データの分析、考察を行う。 ③予習（３００分） これまでの研究を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習（３００分） 論文提出までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
9	①授業テーマ 研究の遂行⑦ ②授業概要 研究データの収集、分析を行う。 ③予習（３００分） 授業時に進める研究内容について計画を立て、進め方の内容を計画表として具体的にまとめておく。 ④復習（３００分） これまでの研究内容について振り返り、問題点や計画の修正点などをまとめておく。	①授業テーマ 研究の遂行⑦ ②授業概要 研究データの分析、考察を行う。 ③予習（３００分） これまでの研究を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習（３００分） 論文提出までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
10	①授業テーマ 中間発表会準備① ②授業概要 中間発表に向けて自身で取り組む研究の経過についてまとめる。 ③予習（３００分） これまでの研究内容を振り返り、進捗状況の把握や計画の	①授業テーマ 研究の遂行⑧ ②授業概要 研究データの分析、考察を行う。 ③予習（３００分） これまでの研究を振り返り、まとめていくのに必要な課題

		見直しをしておく。 ④復習（300分） これまでの研究内容を振り返り、データやデータの扱い方等に誤りがないか確認しておく。	を整理しておく。 ④復習（300分） 論文提出までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
	11	①授業テーマ 中間発表会準備② ②授業概要 中間発表に向けて自身で取り組む研究の経過についてまとめる。 ③予習（300分） これまでの研究内容を振り返り、進捗状況の把握や計画の見直しをしておく。 ④復習（300分） これまでの研究内容を振り返り、データやデータの扱い方等に誤りがないか確認しておく。	①授業テーマ 最終発表会準備① ②授業概要 最終発表に向けて自身で取り組む研究の経過についてまとめる。 ③予習（300分） これまでの研究内容を振り返り、進捗状況の把握や計画の見直しをしておく。 ④復習（300分） これまでの研究内容を振り返り、データやデータの扱い方等に誤りがないか確認しておく。
	12	①授業テーマ 中間発表会準備③ ②授業概要 中間発表に向けて自身で取り組む研究の経過についてまとめる。 ③予習（300分） これまでの研究内容を振り返り、進捗状況の把握や計画の見直しをしておく。 ④復習（300分） これまでの研究内容を振り返り、データやデータの扱い方等に誤りがないか確認しておく。	①授業テーマ 最終発表会準備② ②授業概要 最終発表に向けて自身で取り組む研究の経過についてまとめる。 ③予習（300分） これまでの研究内容を振り返り、進捗状況の把握や計画の見直しをしておく。 ④復習（300分） これまでの研究内容を振り返り、データやデータの扱い方等に誤りがないか確認しておく。
	13	①授業テーマ 中間発表会① ②授業概要 自身で取り組む研究の経過について発表を行う。 ③予習（300分） これまでの発表形式での授業を参考により伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習（300分） プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	①授業テーマ 最終発表会準備③ ②授業概要 最終発表に向けて自身で取り組む研究の経過についてまとめる。 ③予習（300分） これまでの研究内容を振り返り、進捗状況の把握や計画の見直しをしておく。 ④復習（300分） これまでの研究内容を振り返り、データやデータの扱い方等に誤りがないか確認しておく。
	14	①授業テーマ 中間発表会② ②授業概要 自身で取り組む研究の経過について発表を行う。 ③予習（300分） これまでの発表形式での授業を参考により伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習（300分） プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	①授業テーマ 最終発表会① ②授業概要 自身で取り組んだ研究について発表を行う。 ③予習（300分） これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習（300分） 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
	15	①授業テーマ 中間発表会の振り返り ②授業概要 中間発表会を振り返り、自身の研究をまとめていくための討議を他者を含めて行う。 ③予習（300分） 自身の発表内容および受け付けた質疑について確認しておく。 ④復習（300分） 討議結果を振り返り、今後の課題や、方向性の修正などを行う。	①授業テーマ 最終発表会②およびまとめ ②授業概要 自身で取り組んだ研究について発表を行う。その後発表内容について講評を受ける。 ③予習（300分） これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習（300分） 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
関連科目	ゼミナールⅠ（SSCS 4605）、ゼミナールⅡ（SSCS 4606）		
教科書	指定なし。		
参考書・参考URL	授業の中で案内します。		
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知する。 ■オフィスアワー 開講時に告知する。 それ以外の時間については可能な限り研究室で対応する。		

研究比率	
------	--



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.